

検討会 番号	第 1 回 case 1
年齢(代)	40 代
性別	男性
S (subjective) : 主観的情報	
主訴	胃の不調
既往歴	双極性障害
	(アレルギー) なし
	(手術歴) なし
	(出産) (事故)
家族歴	(父) (母) 慢性胃炎 (子) なし
現病歴	(医師による診断名) 機能的ディスペプシア
	(発病様式・内容・経過) x-1 年 12 月発症
	(服薬) ボノプラザン
O (objective) : 客観的情報	
初診日	x 年 12 月
所見(脈・舌・バイタル等)	(バイタル)
	(脈) 硬い (その他) 足の冷え ストレス 緊張 細身
	(硬結) 背部 (膈脛・肝脛の緊張) (圧痛) 足背にも圧痛
A (assessment) : 評価	
評価・弁証	(弁証) 緊張・冷え が強い。改善を目的とする
	(評価法) (流派)
P (plan) : 計画 (治療)	
計画・治療・指導	(取穴) 膈脛、肝脛、胆脛 (鍼) 足三里 (灸)
	(刺鍼法) パルス・置鍼 (時間)15 分程度
	(得気)有 (深さ)浅い
	(頻度)週に 1 度、改善し 2 週間に一度、月に一度
	(指導)漢方内科併用指導。x+1 年 2 月に漢方内科との併用が有効と考え、提案。患者希望もあり紹介。中医学でいう肝鬱・気滞の症状改善目的で柴胡桂枝湯エキス細粒 6 グラム、半夏厚朴湯エキス 3 グラム 1 日 4 回 14 日分が処方された。漢方で足の冷えや背部の緊張症状が更に改善したと感じている。胃の不快感も軽減。
経過	x+1 年 5 月頃改善傾向 現在は 2 か月に一度程度の施術
特記事項	